

2017. 12. 1

初冬の堂谷津の里は、落葉を前にした色鮮やかな木々の葉が澄んだ青空に映える美しい光景が広がります。「カサカサ・・・」落ち葉やドングリの感触を楽しみながら歩くとひっそり鳴く虫の声や冬の訪れを喜ぶ鳥たちの鳴き声が聞こえます。年の瀬を忘れるぐらい静かな里山です。



ノスリ(冬鳥)がやってきました



水路



ノササゲ



カラスウリ



オオカマキリ卵鞘



コカマキリ



堂谷津の池



コナラ(地中に入り根になる)



クロヤツシロラン(実)



ヤブミョウガ(実)



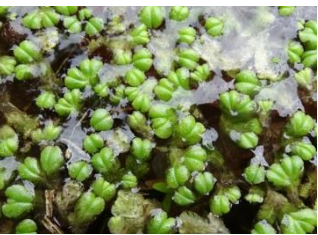
ナンテン(実)



ヤブコウジ(実)



マムシグサ(実)



イチョウウキゴケ(田んぼ)



アオキ(実)



ヤマガキ(実)

### <季節メモ>

青い宝石 「はずみ玉」  
見つけました♪♪



雑木林の中、落ち葉に埋もれる宝石のような青い実を見つけたら、それは「ジャンヒゲ」の種子です。中の白い玉は、よく弾むスーパーボール。根は、所々に膨らみがあり、漢方の要薬「麦門冬(ばくもんとう)」です。里山の植物は、昔の人の生活と結びつきが深いものがたくさんあります。

植物の見かたの視点が増えますね。

写真・編集：晝間